

令和3年度 授業計画 (シラバス)

科目名	生物と環境	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	1 学年	単位(時間)	1 (30)	開講時期	1 年前期
担当教員：非常勤講師					
<p>《科目目標》</p> <p>生物としての人間が環境を離れては存在しえないことを理解し、環境保全への努力が心身のトータルな健康的な生活へ至る重要項であることを学ぶ</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験</p>					
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>随時参考文献提示</p>					
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>自己学習</p>					
<p>《履修に当たっての留意点》</p>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	環境指標生物の定義及び理解するために必要な概念について			講義
2	2	環境指標生物(タンポポ等)について生態学的知見を交えて			講義
3	2	大気汚染の指標となる環境指標生物—生態学的知見を交えて			講義
4	2	水質汚濁の指標生物について—生態学的知見を加えながら			講義
5	2	環境指標生物の総括			講義
6	2	環境指標生物が進歩した理由としての日本の公害問題について			講義
7	2	生物多様性の意味と生態系の多様性と種の多様性について			講義
8	2	生物多様性のなかの種の多様性と遺伝子の多様性について			講義
9	2	生物多様性条約など生物多様性保全の人間社会における展開			講義
10	2	生物多様性の主流化と日本の生物多様性の4つの危機			講義
11	2	生態系の構造と機能、生物濃縮化現象について			講義
12	2	環境ホルモン問題、生態系における水の循環について			講義
13	2	生態系における炭素、窒素の循環と地球温暖化について			講義
14	2	世界の動物地理区と大陸移動説について			講義
15	2	外来生物について			講義